

～子供たちの夢をかなえる教師になる！～

東京教師養成塾通信

発行日 令和5年2月12日<第2号>
発行元 東京都教職員研修センター
研修部教育開発課
電話 03-5802-0318
ホームページ <https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/10jida/vosei/index.html>

●第3回教科等指導力養成講座

令和4年12月18日(日)東京都教職員研修センターにおいて、第3回教科等指導力養成講座を実施しました。坂本教育開発課長からは、「休み時間には、積極的に子供たちと遊び、感謝の気持ちと積極的な姿勢で一つでも多くのことを学び取る」よう心掛けてほしい、との話がありました。

【小学校コースの講座】

○ 「学級経営」

小林指導主事からは、「学級経営」についての話がありました。「児童との信頼関係」や「児童相互の人間関係」等、学級経営上重要な事柄を学ぶとともに「教師と児童の信頼関係を築くために、どのような心掛けや働き掛けをするとよいか？」等、具体的な働き掛けを演習を通して学びました。



「学級経営」

○ 「算数1」

東京教師養成塾教授による「算数」についての演習を行いました。塾生は、「 $8+7$ 」の計算方法の考え方を、図や言葉、式などで表して説明したり、児童の考えに根拠を問い返したりする演習を通して、算数の授業づくりで大切なことを学びました。



「東京都の施策」

○ 「生活1」

東京教師養成塾教授による演習がありました。「がっこうたんけん」の指導計画例を基にしながら、予想される「児童の気付き」を考える演習や協議を通し、「気付きの質の高まり」について他の塾生の考えを参考にして、深めていきました。



「算数1」

【特別支援学校コースの講座】

○ 「東京都の施策」

専門教育向上課 桑田統括指導主事から、東京都の特別支援教育の施策について講義・演習がありました。塾生は、『東京都特別支援教育推進計画』や『特別支援教育研修テキスト』を基に最新の情報に触れ、実習先の特別支援学校において実施されている施策を具体的に知ることができました。



「個別指導計画」

○ 「個別指導計画」

東京教師養成塾教授による演習がありました。塾生は、指導と評価の「R-P-D-C-Aサイクル」や「学校生活支援シート」との関係等、特別支援学校における個別指導計画作成のポイントを学びました。



「生活1」

○ 「国語・算数1」

東京教師養成塾教授による「国語・算数」についての演習がありました。学習指導案に記載する児童・生徒の実態表を用いて、国語と算数の指導計画を考える演習をしました。実態を詳細に把握し、一人一人の実態に応じた指導を明確にすることの大切さを学びました。



「国語・算数1」

【両コース共通の講座】

○ 「教師の魅力と責任1」

小野統括指導主事から講義・演習がありました。「これからの教員に求められる資質・能力」として、教師の仕事に対する強い情熱、教育の専門家としての確かな力量、総合的な人間力が求められていることを学び、法的根拠を参照しながら服務の厳正等の教師の責任について考えました。

【塾生の感想から】

- 学級経営の講座を通して、支持的な風土を心掛けて児童主体の学級を目指していきたいと思った。全ての学校生活において愛情、信頼、尊敬を大切にして特別教育実習で児童と関わりたい。
- 今日は、特に算数の授業づくりが、よく理解できた。それは、班での演習が充実した協議になったからだと思う。また、教授の助言により、算数の授業の在り方について、考えが深められたのだと思う。今後も講義後の演習や協議を通して、理解を深めていきたいと思う。

●第4回教科等指導力養成講座

令和5年1月22日（日）東京都教職員研修センターにおいて、第4回教科等指導力養成講座を実施しました。坂本教育開発課長からは、前回の講座の感想を踏まえ、「予定を受け身でこなすのではなく、主体的に取り組んでいくことが、これから教師となる皆さんの成長につながる」との話がありました。

【小学校コースの講座】

○ 「指導と評価」

東京教師養成塾教授による「指導と評価」についての演習がありました。塾生は分数のわり算の単元における観点別学習状況の評価を考えることを通して、指導と評価の一体化の在り方を学ぶことができました。

○ 「理科1」

東京教師養成塾教授による「理科」についての演習がありました。塾生は、学習指導要領を参照して「すがたを変える水」（第4学年）の単元の目標を作成し、「水の体積や状態の変化に着目する」という理科の見方・考え方を検討する演習を通して、理科の授業づくりで大切なことを学びました。

○ 「社会1」

東京教師養成塾教授による演習がありました。「わたしたちの暮らしと警察の仕事」の単元を取り上げ、「つかむ」段階の学習活動について考えました。「警察署、交番、駐在所の位置を示した地図」等、資料をもとに学習活動を具体化する演習を通して、社会科の授業づくりで大切なことを学びました。

【特別支援学校コースの講座】

○ 「指導と評価」

企画部企画課 高月統括指導主事から「指導と評価」について講義・演習がありました。塾生は、指導及び評価計画を検討することを通して、一人一人の児童・生徒の実態に応じた指導・支援の重要性を学ぶことができました。

○ 「各教科等を合わせた指導1」

東京教師養成塾教授による演習がありました。「各教科等」を「合わせる」ことの意義を確認した後、日常生活の指導について単元の構想を練る演習を行い、単元指導計画の作り方の基本を学びました。

○ 「作業学習と社会性の学習」

東京教師養成塾教授による、作業学習と社会性の学習についての演習がありました。事前課題（動画）を基に、作業学習で取り扱われる作業活動の種類を確認したり、指導内容を「対人関係に関する内容」と「ソーシャルスキルに関する内容」分けたりすることで、学習内容の理解を深めました。

【両コース共通の講座】

○ 「発達障害の理解」

研修部専門教育向上課 原川統括指導主事から、発達障害と特別支援教育についての講義・演習がありました。小学校と特別支援学校というコースが異なる塾生で編成したグループで具体的な指導と支援について協議をすることで、考え方の違いに気付いたり取組姿勢に刺激を受けたりしました。

【塾生の感想から】

- 社会では、「つかむ」段階での資料提示が大切だと学んだ。その中でも特に最初に見せる提示する資料が大切であると思った。最初の資料で児童の興味を引きつけることによって、その後の問題意識を高めることができると思った。
- 班別協議で、特別支援学校コースの塾生と交流し、学びを深めることができた。私は、支援を要する児童とあまり関わったことがなく、演習の課題に苦慮していたが、特別支援学校コースの塾生の的確な意見を聞き、勉強になった。



「指導と評価」(小) で学んだこと



「指導と評価」(特)



「理科1」で学んだこと



「各教科等を合わせた指導1」



「発達障害の理解」合同ケース検討



「発達障害の理解」合同ケース検討



「社会1」